

～創薬、再生医療、細胞治療の産業化に向けた～

先端医療の取り組み

国は2013年度予算案では、医療や介護など、今後の成長産業の育成が大きな柱になっている。中でも注目されているのが再生医療だ。中山伸弥・京都大学教授が開発したiPS細胞を使った応用研究は世界レベルで活発化している。こうした先端医療分野への民間企業の投資が、日本をけん引する新たな成長エンジンになると期待されている。本フォーラムでは先端医療分野の産業化に向けた道筋と課題が示された。

実用化へ 民間企業の力を結集



セッション1

先端医療事業化におけるリスクと課題

2つ目は出

ロンザは02年から再生医療に向けた細胞培養を取り組み、マーケットリーダーとして50以上の製品を提供している。今、世界の病院で使われている成人幹細胞の80%は当社で培養されたものである。

細胞治療とは、加工・培養したヒトの細胞を使って、機能不全になった組織を再生・修復する再生医療



セッション1
Lonza Inc. Head of Cell Therapy Business
David Smith 氏

培養能力増強へ設備拡充

2つ目は出

れる。

整備も求めら

れる。

られる。

られる。

られる。

われる。

われる。